



「先生が千歳に来てくれてよかった」という言葉に
応えていきたいですね。

医療法人北海道家庭医療学センター
向陽台ファミリークリニック
院長 中島 徹さん
Nakajima Toru
柏陽4丁目3-5
☎(48)5151 / ☎(48)5152
在宅医療の資源が少なく、特に向陽台は小児科医師が不在という状況から平成29年4月に開院。



■《在宅医療》にかかわる職種には、医師のほかに、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ホームヘルパー、管理栄養士、ソーシャルワーカー、ケアマネジャーなどがあげられます。

訪問診療、往診のいずれも、医療保険が利用できます。在宅医療では、病状に応じて、患者、家族と医師との話し合いで、在宅医療の進め方が決められます。

在宅医療

ちよつと、
イイ話

医師が家に来てくれるということ。

多くの人が、住み慣れた家で最後まで生活したいと願っています。その希望をかなえる方法の一つ、《在宅医療》をご存じでしょうか。在宅医療とは、通院が困難な患者のもとに医師が定期的に訪れ、計画的に治療・看護・健康管理などを行うもので、「訪問診療」や「往診」とも呼ばれています。今月の焦点では、市内でサービスを提供している2人の医師に、在宅医療について聞いてみました。



しなのめ
クリニック
熊木 院長

在宅医療で大切なこと

「往診のたびに深く感謝をされることが多いのですが、それに対しあぐらをかくことなく、同じ目線で話をするということを一番心がけています。」



向陽台
ファミリー
クリニック
中島 院長

外来と訪問診療の違い

「クリニックに来る患者さんは、緊張されているケースも多いですが、訪問診療では、リラックスされた状態で診療することが出来ます。ご自宅には、患者さんが大切にされているものや好きなことなどがわかり、コミュニケーションがとりやすいものです。」

最後は医師の「どう考える」

「患者さんのお看取りにかかわることがあります。最後の瞬間を自宅で過ごすか、病院で過ごすか、という判断は非常に難しいもので、ぎりぎりの時点まで悩まれる方も少なくありません。訪問看護師にケアの手ほどきを受けた家族の気持ちの変化から、判断が変わるケースもあります。結果的に自宅での看取りになったとしても、その選択がその方の本来の気持ちに添

わることがあります。最後の瞬間を自宅で過ごすか、病院で過ごすか、という判断は非常に難しいもので、ぎりぎりの時点まで悩まれる方も少なくありません。訪問看護師にケアの手ほどきを受けた家族の気持ちの変化から、判断が変わるケースもあります。結果的に自宅での看取りになったとしても、その選択がその方の本来の気持ちに添



患者さんの中には、1時間でも2時間でも話を続ける方がいらつしやいますが、たくさんのお話をすることで満足感を得られます。お薬を処方することも大事ですが、話を聞くことは非常に大事なことで、治療としての効果があるものと思っています。」

在宅医療の「難しさ」

「患者さん本人または家族の皆さんが一番困っていることは、《どのような状態になったら在宅医療を始めるべきか》が、わからないということではないでしょうか。」



在宅療養支援診療所
しなのめクリニック
院長 熊木 史幸さん
Kumaki Fumiyuki
東雲町2丁目14-2
☎(22)6511 / ☎(22)6512
幼少期を過ごした千歳に恩返しをしたいという思いで、平成30年4月に東京から居を移し開院。

医師によって考え方は異なりますが、私は《要介護認定を受けた時点》が検討段階だと思っています。要介護認定は運動能力や認知機能の低下で決まります。身体機能はリハビリテーションで回復しますが、やはり、年齢とともに低下してきます。要介護認定の初期・ある程度動ける段階であれば、患者本人がどのようなことを考え、今後どのようにしたいか、医師と患者の間で、その考えを共有することができます。その上で、要介護4、5などへと状態が深刻化したときに、《この方は、健康だったとき、こんな考え方をもちだだったので、これからは、このような医療を希望されるだろう》など、本人に合った医療を提供できるように努力してまいります。」



在宅医療機関、受けるまでの流れや準備などを掲載

記事に関する詳細
高齢者支援課
地域包括係
☎(24)0896 / ☎(23)6700
※2/12から市役所第2庁舎1階⑦

千歳市在宅医療・介護連携支援センターから
平成30年4月に、市が設置した《在宅医療・介護連携支援センター》をご存じですか？センターでは、医療、介護の関係者同士が《本音》で情報交換ができるような環境づくりを進めています。相互の連携に関する相談窓口や、研修会・情報交換会の実施など、ディスカッションを通じてお互いの立場や考え方を共有し、「顔の見える関係」でつながることを大切にしています。

医療と介護
連携の
ために

千歳市在宅医療・介護連携支援センター
木下 浩志さん Kinoshita Hiroshi
東雲町1丁目11 しあわせサポートセンター内
☎(49)3330 / ☎011(351)5601